

2022年度事業計画書

2022年度は、下記の事業を実施してまいります。

事業の区分について

1. 研修事業活動
2. 情報収集提供事業活動
3. 普及啓発事業
4. 研究助成事業
5. 情報発信事業

事業区分ごとの事業活動と内容

1. 研修事業活動

イ) 針灸学セミナー講座

医師及び医療従事者を対象に鍼灸理論講義と実践指導を行う。基礎・実技編と応用・実技編修了者に修了書を交付する。開催地は、東京と西日本（名古屋）を隔年で設定。次の開催地は東京。講師は形井秀一先生。厚生労働省・日本医師会の後援名義を申請予定。企画・実行のための小委員会を設置し、今後の計画を決定していく。

開催地： 東京

開催日： 2023年3月 または 7月

ロ) 中医学研修講座 基礎の部 （協賛 株式会社ツムラ）

医師及び医療従事者を対象に各種疾患について中医診断、方剤決定などを学ぶ。基礎の部10講座・臨床の部10講座で構成。今年度は「基礎の部」で、8講座以上の受講者には、認定資格取得に必要な15単位を付与し、修了書を交付する。なお基礎の部と臨床の部を合わせて修了すると35単位の付与となる。講師は、各編中医学に造詣の深い講師のべ10名が担当する。公益法人日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度の認定対象セミナーとして登録（1単位/1講座）。全日本鍼灸学会認定指定講座の認定対象セミナーとして登録（1単位/1講座）。

会場：ハイブリッド開催

開催日：第3土曜日 時間：PM6時～8時迄

2022年4月より年間10回（8月12月は休講）

ハ) 次のステップをめざす中医学研修講座（協賛 クラシエ薬品株式会社）

医師及び医療従事者を対象に、具体的な「臨床例」を通じて生きた中医を身につける。全5講座で構成し、各月1名のべ5名・現在第一線で活躍中の中医師及び中医を専門とする医師が担当する。4講座以上の受講者には、認定資格取得に必要な15単位を付与し、修了書を交付する。

厚生労働省後援、公益法人日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の認定対象セミナーとして登録（1単位/1講座）。全日本鍼灸学会認定指定講座の認定対象セミナーとして登録（1単位/1講座）。

会場：ハイブリッド開催

開催日：第4土曜日 時間：PM6時～8時迄

2022年4月・6月・7月・10月・11月（年間5回）

二）医鍼薬地域連携研究会（DAPA）

医師と鍼灸師、コメディカル（Co-medical / 共同するという意味で使います）との間で患者情報共有をめざし、鍼灸師から医師へ、患者紹介受け入れ医療機関を増やしていく。

●症例検討会

会場：オンライン

開催日：第2月曜日 時間：PM8時～（1時間程度）

●医療連携鍼灸師 認定制度

認定基準の講座を全て履修して、受験（レポート提出）・認定（審査）を経た者を、医療連携鍼灸師に認定する。

ホ）新・中医臨床カンファレンス

症例（医案）を事前に配布し、当日に症例案を参加者各自が持参して中医診断、弁証、治法、処方、服薬等をディスカッションする。参加対象に制限はないが、特に「中医学研修講座」「次のステップをめざす中医学研修講座」「医鍼薬地域連携研究会」の受講者に討議の場を提供することを目的とする。

会場：オンライン

開催日：第3水曜日 時間：PM8時～（1時間程度）

講師：長瀬眞彦・高橋博樹・菅沼栄

ヘ）中国医学実践通信講座

中国医学の基礎理論から診断、治療の実際までを独自のカリキュラムで講座を進める。自宅で好きな時間に学べるメリットがある。講座は、内科系、外科系、全講座の受講コースがあり、各科選択ができる。毎月1回、受講生はレポートを提出し、担当中医医師が解答と評価を加え戻す。

全科7ヶ月間のトレーニングを修了して中国医学をマスターするよう受講生に啓発を行う。中医学基礎の部とのタイアップも推奨する。

ト）中医学オンラインセミナー

①中医学の基礎講座の販売

全10講座の動画コンテンツを継続して販売。

②中医学の応用講座の販売

全10講座の動画コンテンツ（現在9講座販売中）を継続して販売。

2. 情報収集提供事業

学術誌「東方医学」の発行（The Japanese Society of Eastern Medicine）

広く東方医学に関連する研究成果の発表、ならびに日本東方医学会の活動を含め情報発信を主な目的とする。2022年度は2回発行予定、全会員及び国会図書

館へ配布する。より多くの会員の投稿を期待する。

掲載は、投稿規程内容にもとづき掲載までの過程をチェックし、特に個人情報保護法の規定を厳守しているかどうか審査し、倫理委員会では倫理審査委員会の審査が必要であるか否かを検討・判断し、会員の便宜を図っていくこととする。

3. 普及啓発事業

公益目的支出計画実施事業(内閣府認可継続事業)

●第40回日本東方医学学会の開催

会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンス

開催日：2022年12月4日

会頭：長瀬眞彦先生

●市民公開講座の開催

4. 研究開発、及び助成事業

東方医学に基づく研究及び助成の活動

①花粉症のためお茶「快び」を復活させて、モニターの観察研究を行い、論文と学会発表の準備をする。

②Covid-19 後遺症に対する中医学的治療の観察研究を当会の会員、非会員を問わず広く募り、論文と学会発表の準備をする。

③東洋医学会の「軽症から中等症の Covid-19 患者(疑い含む)に対する西洋薬・漢方治療による症状緩和、重症化抑制に関する多施設共同、後ろ向き観察研究」への協力と支援を行う。

5. 情報発信事業

イ) 本財団と東方医学会のホームページの更新作業を行う。

- ・学術大会、各種セミナー情報の発信と参加申込み
- ・一般ユーザー向けに全国の会員施設を紹介

ロ) フェイスブックサイトの運用。

ハ) 「4. 研究開発、及び助成事業」に関わる出版事業、及び宣伝広告事業

以上

2022年度 事業予算について

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益法人の会計方式を採用している都合上、本来は管理費に計上される業務委託費（人件費、交通費、賃料、通信運搬費、その他の事務所経費等）を、各事業費の支出の中に比率に応じて分けて計上してあります。そのため、管理費の数字が低くなっていますが、収支自体に間違いはありませんので、ご了承ください。

2022年度の事業計画に対する収入と支出見込

収入見込 13,800,000 円

支出見込 13,600,000 円

（単位：円）

		収入	支出	備考	仕事比率
会費等		4,000,000		入会・年会費 寄付 基金利息含む	10%
事業費		9,800,000	9,600,000		80%
内訳	研修事業	5,000,000	3,800,000	鍼灸学セミナー 中医学研修講座 次のステップ 医鍼薬セミナー 新中医臨床カンファレンス 中国医学実践通信講座 中医学オンラインセミナー	
	情報収集提供事業	300,000	600,000	学術誌 2 回発行	
	普及啓発事業	2,000,000	2,200,000	学術大会	
	研究開発他事業	2,500,000	2,000,000	BAT 研究など	
	情報発信事業		1,000,000	Web など	
管理費			4,000,000		10%
		13,800,000	13,600,000		